

Chance Challenge Change

柔軟な発想で試行錯誤し、変化にチャレンジ！

令和3年度
総合的な探究の時間・ぎふグローバル人材育成推進事業
岐阜聖徳学園高等学校
令和4年1月27日 12号

人権 HR①「拉致問題の解決のためにできることを考えよう」

12月1日(水)4限目と翌週12月8日(水)4限目の時間は、全校生徒を対象とする人権ホームルームとして北朝鮮による拉致問題について考えます。

法務省人権擁護局が取り上げる17の主な人権課題^{※1}の1つである「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」について、生徒が拉致問題に関する事実を知り、事実に基づいて考え、解決のためにできることを主体的に考えていくきっかけをつくることです。北朝鮮による日本人拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、政府も最重要課題と位置づけ、その解決に向けて全力で取り組んでいます。^{※2}

拉致問題の解決のためには、国民が心を一つにして全ての拉致被害者の一日も早い帰国実現へ強い意志を示すことが問題解決に向けた力強い後押しとなります。特にこれまで拉致問題について触れる機会の少なかった若い世代への啓発が重要な課題となっています。^{※3}

また、拉致問題は北朝鮮という国家による犯罪であり、北朝鮮の国民や在日朝鮮人の人々には責任はないことを押さえ、教育の中立性に十分配慮するとともに新たな差別や偏見を生み出すことのないように配慮します。^{※4}

※1 法務省人権擁護局「令和3年度版 人権の擁護」より

※2 内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室 長文部科学省初等中等教育局児童生徒課長「北朝鮮当局による拉致問題に関する映像作品等の活用促進について(依頼)」(2021年4月23日)より

※3 内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室 学習指導案集 高等学校 総合的な探究の時間 宮崎県「家族を取り戻す～拉致問題について考えよう～」より

※4 内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室 学習指導案集 高等学校 ホームルーム活動 兵庫県「北朝鮮当局による拉致問題等について」より



人権 HR「拉致問題の解決のためにできることを考えよう」について

北朝鮮による日本人拉致問題とは、「北朝鮮が、日本に暮らす人々を本人の意思に反して強制的に連れ去った国家による犯罪のこと」です。日本人を拉致した目的は、「北朝鮮の職員(北朝鮮の国家の命令で秘密裏の活動をする人)に日本語を教えさせることなど。教育を受けた職員が日本に潜入し、さらに日本人を拉致することに関わることもありました。

現在、日本国政府は拉致被害者として17名を認定していますが、その他にも北朝鮮による拉致の可能性を排除できない行方不明者である「特定失踪者」は、現在876名にのぼっています。拉致被害者、特定失踪者の方々の多くは、1970年代から80年代にかけて、帰宅する途中などに突如として行方不明になっています。17名の拉致被害者の中で、横田めぐみさんは最も若い13歳で拉致されました。44年前の1977年11月15日の夕刻に、新潟市立寄居(よりの)中学校のバドミントン部の練習を終えて帰宅する途中、自宅の直ぐ近くの角で拉致されました。横田めぐみさんのお父さんの横田滋さん、お母さ



産経新聞 2018年6月14日

政府が認定した日本人拉致被害者

帰国した被害者

未帰国被害者

1 52年9月19日 石川県で拉致 久米裕さん (93歳・当時52歳)	3 52年11月15日 新潟市で拉致 横田めぐみさん (53歳・当時13歳)
2 52年10月21日 鳥取県で拉致 松本京子さん (69歳・当時29歳)	4 53年6月ごろ 拉致場所不明 田口八重子さん (62歳・当時22歳)
5 53年7月7日 福井県で拉致 地村保志さん (63歳)	6 53年8月12日 新潟県で拉致 曾我ひとみさん (59歳)
7 53年7月31日 新潟県で拉致 蓮池薫さん (60歳)	8 53年8月12日 鹿児島県で拉致 市川修一さん (63歳・当時23歳)
9 53年7月31日 新潟県で拉致 蓮池祐木子さん (62歳)	10 53年8月12日 鹿児島県で拉致 市川修一さん (63歳・当時23歳)
11 53年6月ごろ 欧州に出国後拉致 田中実さん (68歳・当時28歳)	12 55年6月中旬 宮崎県で拉致 原教晃さん (81歳・当時43歳)
13 55年5月ごろ 欧州で拉致 松木薫さん (65歳・当時26歳)	14 58年7月ごろ 欧州で拉致 有本恵子さん (58歳・当時23歳)
15 石岡亨さん (60歳・当時22歳)	

※年齢は6月15日現在。元号は昭和

んの横田早紀江さんは拉致問題の解決のために必死で活動を続けてこられました。今年の6月5日にお父さんの滋さんは、めぐみさんと再会を果たすことができないまま亡くなりました。お母さんの早紀江さんは今年85歳になられます。北朝鮮で生きていないめぐみさんのために必死で拉致問題の解決を訴え続けておられます。

日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」視聴

北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。このアニメは、漫画「めぐみ」（原作・



監修：横田滋・早紀江、作画：本そういち、出版社：双葉

社)をモチーフとして制作しました。制作に当たっては、日本俳優連合の多大なご協力をいただき、また、声優の方々もボランティアで出演してくださっています。このアニメはコピーフリーのため動画ファイルを拉致問題対策本部サイトから無料でダウンロードできます。(www.rachi.go.jp 日本政府 拉致問題対策本部サイトより)

小泉純一郎首相の北朝鮮訪問

2002年9月17日の第1回日朝首脳会談において、北朝鮮の金正日(キム・ジョンイル)国防委員長(当時)は、長年否定していた日本人の拉致を初めて認めて謝罪し、当時日本政府が認定していた拉致被害者13名のうち4名は生存、8名は死亡、1名は北朝鮮入境が確認できない旨伝えた。また、日本側が調査依頼をしていなかった曾



我ひとみさんについて拉致を認め、その生存を確認した(他方、北朝鮮側は、その後の調査において、同時に行方不明となった母親の曾我ミヨシさんについては、入境の事実はない旨主張し



た。)その上で、関係者の処罰及び再発防止を約束すると同時に、家族の面会及び帰国への便宜を保証すると約束した。これに対し、小泉純一郎総理(当時)は、金正日国防委員長(当時)に対し強く抗議し、継続調査、生存者の帰国、再発防止を要求した。(内閣官房拉致問題対策本部事務局資料より)

この訪朝後の拉致被害者家族会の記者会見にて、横田めぐみさんの両親の横田滋さん・早紀江さんが「絶対にこの何もないいつ死んだかということも分からないようなそんなことを信じることはできません。そしてこれまで長い間、本当にこのように放置されてきた日本の若者たちのことを、どうぞ皆様方も真心をもって報道してください。日本の国のために、このように犠牲になって、苦しみ、また亡くなったかもしれない若いものたちの心のうちを思ってください。」と話されました。また、拉致被害者 増元るみ子さんの弟の増元照明さんは「今まで、この問題を無視し続けた国会議員の方々、何か我々に言うことがあったら、連絡ください。」と述べておられます。拉致問題は、日本国民の暮らしの安全・安心のために、私達がどのような政治家や政党を選ぶことが大切なのかという問題でもあることを訴えておられます。



また、横田早紀江さんは「私たちは、北朝鮮に住む一般市民の人たちを憎んだり、恨んだりしているわけではありません。ただ、家族を取り戻したいだけなのです。」と話しています。何よりも大切なことは、拉致問題は北朝鮮という「国家」による犯罪であり、北朝鮮の「国民」や「在日朝鮮人」の方々には責任はないことをしっかりと理解をして、新たな差別や偏見を生み出すことのないように配慮することです。

アニメを視聴して

日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」を視聴し、考えたことや感じたことをワークシートに記入し、ホームルームで共有しました。

- ・ 見つからないことへの焦り、集まるかどうかわからない署名活動をしないと動こうとしない日本政府への怒り



- ・ 家族を拉致された不安と絶望が入り混じった行き場のない感情
- ・ 簡単に想像できない恐怖、この先どうすればいいのかわからない不安

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

めぐみさんの両親が署名を求めているシーンを見て、私の知らない所で一生懸命戦っている人がいたことを知りました。「拉致された若者たち」という言葉からもっと早く日本政府は拉致対策本部の活動を再開すべきだと感じました。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

日本の国会議員の人についてたえても「十数人のうちで、北朝鮮との交友をなくせない」と言った所で、人の命よりも国との交友を大切にする日本の国会議員は、冷たくひどい人だと思いました。そしてまだ13歳なのに暗い所であんなに打ち回されて、本当に心ほそかったらうと思いました。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

めぐみさんを諦めず、人生をかけて目かけ出そうとしている横田一家の家族愛が強く感じられた。街頭での呼びかけで、自分には関係ないという、関心のない態度がいまの世の中

2 アニメ「めぐみ」の内容について考えましょう。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

「私たちは北朝鮮に住む人々を恨んでいる訳ではありません。ただ、家族を取り戻したいだけなのです。」という言葉が印象に残りました。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

両親が長い時間をかけてあきらめずに活動を続けていること。お母さんの最後の「聞いています」という言葉がずっと心に残った。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

日常パートとの落差で悲しみに押しつぶされそうになりました。
日本という国のもろさがよく分かるようなアニメだと思った。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

家族が「どれだけ必死になっても政府が動からなければ、日本は動かぬという事実が」すごく切ないと感じた。
どれだけ声をあげても助けてもらえない、自分が死ぬかもしれない

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

めぐみさんの両親が政府に北朝鮮の拉致問題について対策を求めたときの「たった数人の被害者のせいであらぬ北朝鮮との関係の悪化にはどうするんだ」という政府の言葉が印象に残っています。国のために亡くなくて良い命など無いと戦争を学んだはずなのにこんなことを考える人がいるということが恐ろしいです。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

両親が何れも「めぐみ」と呼びながら探がしたり、寝る前にもずっと娘の事を考えている姿を見て、心がとても苦しくなりました。国と国の関係が悪くなると言われ、国も深く関わってくれてはなかったのはひどい事だと思いました。北朝鮮の方からめぐみさんと思われる書類や遺骨を目にしても、諦めずに活動を続けるめぐみさんの両親は本当にすごいと思いました。

日本の政府がたった10数人の人だけで、日本と北朝鮮の交友関係が崩れるところを望んだ。めぐみさんの両親や、他に拉致された親族の人たちの行動力を誇らし、やっぱり、それのことをとても愛していたんだ。

2 アニメ「めぐみ」の内容について考えましょう。

- (1)めぐみさんが突然いなくなったときの両親の気持ちは、どのようなものだったのだろうか。
- (2)街頭で救出を呼びかけ、署名運動をするときの両親の気持ちは、どのようなものだったのだろうか。
- (3)「私たちは北朝鮮に住む一般市民の人たちを憎んだり恨んだりしているわけではありません」とはどういうことだろうか。
- (4)もしあなたの家族や大切な人が突然いなくなったら、あなたはどのような思いをするだろうか。

番号: (3)	考え: 全員が全員悪いわけではなく、政府が行ったことに対して反対をしているだけ。Youtubeで一回北朝鮮に住んでいる女性が自分たちの生活の苦しさを語っていて、一般市民が悪いわけでは無いと思った。
番号: (4)	考え: 何も出来なくなると思います。悲しさもあるけれど、不安が大きくなる。だからめぐみさんの両親は今も活動を続けていってほしい。それが本当に正しいことだと思います。

2 アニメ「めぐみ」の内容について考えましょう。

- (1)めぐみさんが突然いなくなったときの両親の気持ちは、どのようなものだったのだろうか。
- (2)街頭で救出を呼びかけ、署名運動をするときの両親の気持ちは、どのようなものだったのだろうか。
- (3)「私たちは北朝鮮に住む一般市民の人たちを憎んだり恨んだりしているわけではありません」とはどういうことだろうか。
- (4)もしあなたの家族や大切な人が突然いなくなったら、あなたはどのような思いをするだろうか。

番号: (1)	考え: 理由が分からなければ余計に心配だし、自分のせいではないかと責めてしまっている
番号: (2)	考え: 見つからないことへの焦りとか、集まる保証のない署名をしようとする動きとしてほしい。北朝鮮・日本政府への怒りがある。

2 アニメ「めぐみ」の内容について考えましょう。

- (1)めぐみさんが突然いなくなったときの両親の気持ちは、どのようなものだったのだろうか。
- (2)街頭で救出を呼びかけ、署名運動をするときの両親の気持ちは、どのようなものだったのだろうか。
- (3)「私たちは北朝鮮に住む一般市民の人たちを憎んだり恨んだりしているわけではありません」とはどういうことだろうか。
- (4)もしあなたの家族や大切な人が突然いなくなったら、あなたはどのような思いをするだろうか。

番号: (4)	考え: 探さなければいけないけど、自分から探すのは何？と考えるのが苦しい。でも、めぐみさんの母親の発言から、彼女が家族の大切さを再認識できている
番号: (3)	考え: 北朝鮮の人たちに対する救済の可能性があるにせよ、自由な選択の気持ちは一杯の両親の様子が見えなくて、差別や偏見の目撃的な気持ちは分かってほしい

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

本当に、国全体で老けないといけないことだと思ふ。みんなが老い
いとこの問題は解決しない。本当にとても苦しいことだと思ふ。今の
自分では、どうすることもできないが、少しでもその問題を解決にかま
入れたいと思ふ。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

急に家族がいなくなってしまう、悲しさと辛さが
よく感じられました。また、街頭での呼びかけで、
他人事だと、まったく関心を持たない。我々の姿が、
横田さんの目にはどのように写っているかがよく伝
わりました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致問題は決まらずに感じました。このレポートを見て
たけど北朝鮮が悪く見ると解決しないのは、国と国
にも何か非があるからと考える。お互いの国で、相手の悪に訴はかり、
教育報道に子どもが、解決しないのだと感じた。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

もし自分が両親の老後資金を、自分何も考えなくてもなると思えば
と母も両親はどきどきすること、金もどきやり、何にも負けがたに
なっていることは、心から胸にささりました。今後自分も暑気活動が
拉致問題について最大限協力したいと思ふ。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

私は「めぐみ」として、拉致は本当に恐ろしいもので、絶対にめつたは、
強く感じました。また、拉致された人も突然、つれづれ知らぬ国で働かされて、
毎日不安だと思ひました。私も、今まで普通に生活して、
限られた生活、と何となく成り立ち、
今年と入国して生活、家族や周りの人への感謝も
忘れず生活したいと本当に強く感じました。
今回の取組めで、昔起きた、日本と世界の問題、
自分で調べたり見たりして、
もっと自分の思いや考えを伝えていきたいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

病気でもなく、元気だった家族が、
とつせんなくなると、
てしまったら、
今回の授業で考えることか、
らなるとあらためて思いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回、授業として私達には何もできないと思っていたけど、
そんなことなくて、この現状を知っているだけでも、
なれると思ひました。「めぐみ」さん以外にも、
くすんでいる、その人達のためにも知識をもっと深めたいと強
く感じました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

もし、自分がこのお母さん立場で、
めぐみさんの親はめぐみさんを本当に大切に育てたのだから、
今の時間を大切にしたいと思ひました。また、
課題であると思ひました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の拉致問題、の授業を受けて、毎日楽しく家族や友達と過ごせていることが当たり前ではないこと、身の回りの家族や友達の大切さをあらためて感じるようになりました。このような署名に積極的に参加し、拉致問題となくしていきたいと感じました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今まで暮らしてきて、なにげない日常で、どんでん進んでいく時間ですが、そのなにげない日常でも、後々考えたら大切な時間だったのかなと思いました。これから、このなにげない日常の中でも、自分の最善な行動をとるようにしていきたいと思いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の授業から、拉致された方の多くは若者の方が多く、日本人の生命、自由を簡単に奪ってしまうのは本当に怖い。自分たちもこのことを忘れずにニュースなどから常に情報を取り入れていきたいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

あたり前のことを"あたり前"ではなく"なる前に"、家族に対して後悔などを"する"ことを"無い"ように、自分や"子供"からどうしていいかは"良い"の"か"という"こと"を、改めて家族に対してどう接していいかは"良い"の"か"という"こと"を"分"かれた。家族の大切さを知った。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致問題についてあまり知らなかったけれど今回の授業で少しでも知ることができました。自分が拉致されると考えるだけで、すごく怖いなあと思いました。拉致問題について知っている人は少ないと思うのでもっと広めていき今後ないようにはしていきたいと思います。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

アニメを見るから、自分自身もすごく苦しくなって辛かったです。めぐみさんは孤独で本当に怖かったと思うし、家族も不幸で絶望だったと思います。なぜこんなことが起きてしまったのか、なにが理由だったのか事実をつきとめなければいけないと思うし、これから先私たちが考えていかなければならないと強く感じました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

ニュースですと報道されていたものをいざアニメで観て考えてみると、すごく感情も入り、またいろいろ考えることが多くありました。こうした問題を小さいころから、家族に聞かされていたので、日本の国民として、この話は語りつづけていき、風化されないようにしたいなと思いました。自分からたくさん調べたい。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

自分が知らなかった所で少なくとも17人の人が家族と別れはなされて、国も朝魚羊とのかかわりが悪くなるからとしっかり取り扱ってもらえないことを高校生になって知って、一刻も早く改善されることや家族がむくめるように少しでもより早く戻りたいの事をくわしく知りました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致問題があることを知っていたが、友達にこの事件後でいかにか、このことを"発見"したま、わりには知らない。現在になって学校で取り上げられようとしてい、また詳しいことは一般には知られていないことが分かった。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の拉致問題では、テレビでは何回か見たこと聞いたことはあつたけど、今日の授業のおかげで、じっくりと見る機会がたつた。見ることができた。思っています。拉致問題は、今の状況でも、ほんとうに身近な問題だと感じることができ、ほか、自分でもできることは何かと考えることができた。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

めぐみさんは生きていていい、自分も著名な活動に参加したいと思いました。もし自分の家族がいなくなったらとても辛いし、自分を責めるのに、めぐみさんの両親はめぐみさんを助けるために、いろいろな活動に取り組み、めぐみさんを愛していたんだなあと感じました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

どうやら福田めぐみさんが家族の元へ戻れますように。当たり前だと思っていたことが当たり前ではなく、今ある環境が本当に難しいんだと感じました。最後のめぐみさんの母が感謝を伝えている姿がすごくいい。辛い思いをしてきたのに取材してくれてありがとうと言葉が返る感じがすばいと思います。どうか、どうか、問題が解決しますように。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

自分の大切な人や家族や、こんな目にあっては絶対苦しい。どう生きていく希望も失ってしまふ。悲しいです。毎日親や周りの人に感謝して7日7日を大切に生きていきたいと思います。また自分と大切な人を守れるように祈りたいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

北朝鮮に対しては、恐ろしい国だと思いました。55年近くで多くの命を奪った。今にも帰国してこられない人々で感情がたまるかと思いました。最近の北朝鮮と韓国のことについて思うことが多くあります。日本も昔の政治体関係も保つたことが多くあります。これが、北朝鮮と同じように何も考えない、日本も良く知らぬの政治体にも関係する。積極的でない。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

このうち問題は絶対にあってはならないことだし、見て見ぬふりをしてはいけない問題だと改めて思いました。日本人全員と一緒に問題解決に取り組むようこれから考えなければいけないと思います。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

今回の授業を通して、拉致された、ゆがめられたりすることは自分に関係ない事件だと思わないことが大切だと思いました。平和にくらべていることに感謝していきたくと思いました。

1 アニメ「めぐみ」の印象に残った場面や言葉をメモしましょう。

拉致問題の怖さ、何もしてないのにそういうことをする恐怖心と心にきました。いつも通りの日常親が一歩づつ思いどうするともできない。国民の協力もない状態がどうやって辛いか。みんな支援を求めたいけれど、この状況で代わりのことでも協力しなればいけないと思う。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致問題は、日本と北朝鮮だけの問題ではなく、世界が共通して取り組むべき問題だと思いました。北朝鮮だけでなく他の国も同じようなことをしているところがある。簡単に人権が他国におびやかされないよう、世界で共通認識とするべきだと思いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

職員をつくるために他国から拉致する朝鮮も友好関係を気にして拉致から目をそらす日本政府の一部もおかしいと思う。また、拉致された人はもちろんその家族はすごく傷つき、悲しい、つらい。たぶん、朝鮮と日本政府をくらんだと思います。他人事だとは考えず、できることがあるのなら積極的に協力したいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

北朝鮮による拉致問題についてどう動いていか考えていくべきだと思いました。17人と言っているけれど、実際はもっと多いと思います。両親の心配する思いは、私たちのためだということに改めて気付くことができました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

親を大切にしようと思った。無くしてから気付くのではなく、今、改めて親や友達とのつながりを大切にしようと思ったし、相手のことをよく考えて、身勝手な行動を抑えようと感じた。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致問題について全然知らなかったし、考えたこともなかったけれど、今回の授業でとても考えさせられることが多かったです。だからこそ、これから人権についてしっかりと考えていきたいです。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

このような事をおくすため、北朝鮮に限らず、人権に対する考え方を徹底させるべきだと思いました。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

拉致は絶対に許されないし、自分的にも許せない。もっと、日本には積極的にな。してほしいと思う。自分だけでも、真剣に考えて、感じて、できるとしたいと思う。

3 今回の授業を振り返って、考えたり感じたことを書きましょう。

すぐくべにグッときた時間でした。この授業で一番大切なことは、親の愛情というものが一番大切なものだということが分かりました。僕もこれから家族を大事にしたいと思いました。